

とらのもん

“がん”とつきあう
連携医療機関のご紹介 芝公園かみやまクリニック
検査を知ろう～肝疾患に関する検査～



バラ

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

公開講座のお知らせ

本院『“がん”とつきあう』
長谷川 久巳 外来管理看護師長
(がん看護専門看護師)

日時：5月20日(土) 14:00-15:30

場所：本院 本館3階 講堂

(入場料無料)

諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。

お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認下さい。



「 “がん” とつきあう 」

外来管理看護師長 長谷川久巳

がんは、1981(昭和56)年より日本の死亡原因の一位となり、今もなお年間約50万人ががんと診断され、そして約30万人(死亡者の三人に一人)ががんににより死亡するという現状があります。一方では、がんの早期発見による治癒率の向上や、治療技術の進歩により、かつての“不治の病”(がんになればすぐに死んでしまう)というものから、生活習慣病と同じように、がんは慢性病ととらえられるようになってきました。これらの事は、がんは死という問題をはらみながらも、生活の一部として、がんという病と共に過ごしていく時間がより長くなっていることを意味しています。それには、がんと上手につきあっていくこと、様々なことと折り合いをつけながら生活していくことが大切だと考えています。私は、現在まだ耳慣れないがん看護専門看護師(日本看護協会認定)として、多くのがん患者さんやそのご家族と接しています。その経験をもとに、がんとつきあううえでいくつかのポイントをご紹介します。

情報とつきあう

がんとのかきあひの中では、治療法や医療機関、仕事や経済面の調整など、自分で考え、決めていかななくてはならないことが沢山あります。そのような時、非常に重要なのが情報です。しかし、医学的な事はよく分からなかったり、どんな風に情報を得たらいいのか、また反対に、情報が氾濫するあまりに、自分にとって必要な情報が何なのか分からなくなったりします。加えて、精神的に不安定な中で情報を集めていても、なかなか冷静に考えられなかったり、自然に悪い情報を遠ざけたりすることもあるかもしれません。

それでも、後悔しないようがんと歩んでいくためには、できる限り正確な病状を知るこ

長谷川 久巳

がん看護専門看護師
(日本看護協会認定)



とがはじめの一步になります。自分にとって良い情報も悪い情報も含めて、まずはがんの診断をした医師から、がんの種類、進行度、推奨される治療法について聞き、そのうえでそれらに関連した情報を得るようにすることです。できれば、身近な人と一緒に話しを聞いてもらい、それをメモに書く、分からなければ再度説明の機会を求めるとします。そして、雑誌や書籍、インターネット、知人の医療関係者などを利用するようにします。最近では、一般の書店でもがんについて分かりやすく解説してある書籍や雑誌が販売されていますし、なかには看護雑誌の特集が分かりやすいと読まれる方もいらっしゃるようです。治療法については、各種がんの診療ガイドライン(現時点で最も効果があると科学的に検証された標準治療)があり、患者向けのものが作成されているものもあるので、それを活用すると良いと思います。それをもとに、担当医師に相談するようにしていくとよいでしょう。ただし、一つ注意しなくてはならないのは、情報には偏りがあったり、正確でない情報もあつたりするということです。“治る”ことばかりを宣伝しているようなものは、怪しいことが多いようにも思いますので、「こういう本があるのですが」と実際の書籍や印刷などをお持ちいただき、担当医師や看護師に尋ねてみることをおすすめします。

医療者につきあう

がんとのつきあいの中では、医療者とのつきあいがなくてはならないものです。特に、担当医師とは、一番長いつきあいになります。外来では、待ち時間が長くても、診療時間が限られており、担当医師が話しを聞いてくれない、気持ちを分かってくれないなどの声も聞きます。もちろん医師の方の姿勢に問題がある時もありますが、これまでの「お医者様」という発想から、相談相手、パートナーとしての医師という考え方が大切だと思います。そして、医師もまた人間ですから、人間同士の信頼関係を築いていくということも必要になります。へんに持ち上げたりする必要はないですが、短時間の中で、自分の疑問や考えを的確に伝えたり、気持ちをストレートに伝えられるようにしていくことも大切です。思いや考えをあらかじめ書き出してみると、自分の中で伝えたい内容が整理できることがあるのでおすすめです。また、医師との橋渡しや、その他の医療者との窓口として、私達看護師を活用していただくのもよいと思います。

セカンドオピニオンもおすすめです。よく「医師に申し訳ないから」と言われる方も多いますが、決してそんなことはありません。がんの診断時、治療法選択時、再発時など様々な場面で、活用していただく方が、疑問を持たれたままでいるよりも医師にとっても喜ばしいことなのです。

この他にも、「周囲の人々(家族、親類、友人など)につきあう」、「自分の気持ちにつきあう」ということがあります。一人きりで頑張ろうとすればするほど、ストレスをため込み、疲れ果ててしまいます。長くがんにつきあっていくには、信頼できる身の回りの人にできるだけオープンにしながら、いかに相談相手を作るか、いかに自分につきあっていけるかということが重要です。「前向きになれない」と落ち込んでいる方もいますが、いつも前向きである必要もありません。むしろ、前向きでないときがあっても当たり前のことです。そんなときにも自分を責めず、時々自分を甘えさせてあげることも大切です

す。また、あまりにも気持ちの落ち込みが続いたり、眠れぬ日々が続くようであれば、ためらわず精神科や心療内科に受診し、気持ちを整えるのも一つでしょう。

また、「死の問題につきあう」ことも必要です。「がん=死」と考えたり、むやみに死を恐れる必要はありませんが、日々家族と死について語ってみたり、自分の死を考えてみたりすることはとても重要なことだと思います。医療現場にいと、がんという病が与える衝撃の強さや苦悩の深さを知るとともに、がんと上手につきあいながら生活をする姿、あるいは死という問題と対峙しながらも、家族の絆の深さや自分らしくあろうと力強く生きていく姿に触れ、感動する場面が多々あります。そして、いつも自分だっただと考えています。実際的に自分もそういう場面に直面しないと分からないとは思っているものの、それでもまずは考えてみることで、その時々自分にとって大切なことが見えてくるように思います。がんと共に生活する上では、“これをやったら絶対に治る”、“こうしなくてはならない”という、唯一の答えがあるものの方がむしろ少なく、常に自分にとってどうなのか？自分は何を大切にするか？という問いが重要なことの方が多いうに思います。ですから、死についても、時々考えてみることで、そして私達看護師も一緒に考えたり悩んだりする相手として、皆さんのがんとのつきあいのお仲間に入れていただきたいと思います。

連携医療機関のご紹介 ～ 芝公園かみやまクリニック ～

ご挨拶

当院は、産婦人科一般診療と不妊治療を中心としたクリニックです。医療不信や医療の質が話題となる現在、患者様が何を最も求められているかを見極めることが大切と考えます。

綿密な病診連携の下で、初診から検査、手術まで一貫した医療を行うことを目指します。また体外受精、顕微受精などの高度生殖医療においては、常に最新の医療が行えるよう取り組んでいきます。

デリケートな診療だからこそ、プライバシーと誠意を大切に診療につとめています。まずは何でもご相談下さい。



芝公園かみやまクリニック

東京都港区芝2-9-10ダイユウビル1F
TEL:03-6414-5641
FAX:03-6414-5642
<http://www.s-kamiyamaclinic.com/index.html>

< 院長 >
神山 洋



< 略歴 >

昭和60年 3月 昭和大学医学部卒業
平成 2年 3月 昭和大学医学部大学院医学研究科外科系産婦人科終了
平成 4年 5月 医学博士授与
平成13年 7月 米国New Jersey州 Diamond Institute infertility And Menopauseにて体外受精の研修
平成14年10月 虎の門病院産婦人科医員 不妊外来担当

平成17年 6月 芝公園かみやまクリニック院長に就任

< 所属学会 >

日本産科婦人科学会 認定医
日本東洋医学会 認定漢方専門医

診療表

	午前 10:00～13:00	午後 16:00～19:00
月曜	診察	診察
火曜	診察	診察
水曜	診察	診察
木曜	休診	診察
金曜	診察	診察
土曜	診察	下記参照
日曜・祝祭日	休診	休診

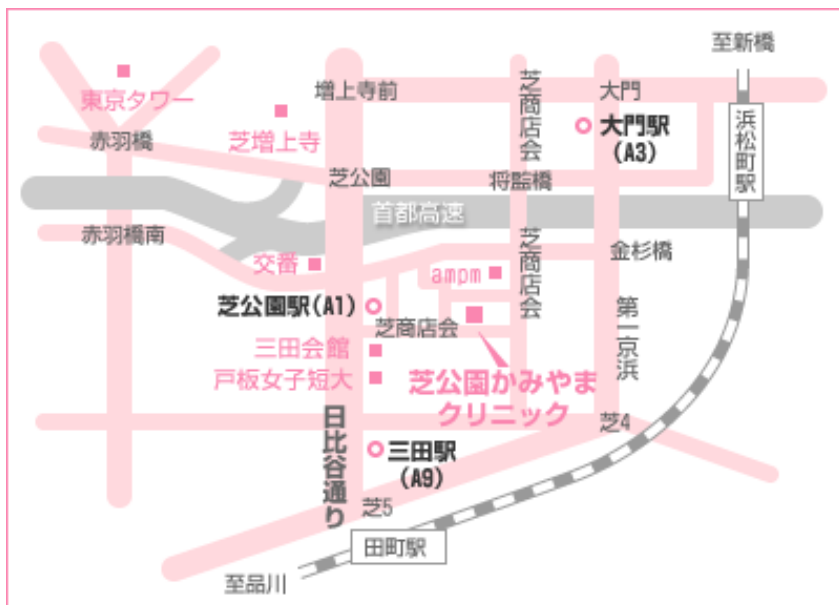
土曜午後診察時間は15:00～17:00となります。

なるべく予約をお取りいただき、来院してください。

診療表に変更が出る可能性があります。来院される際には、必ずクリニックに診療の有無をご確認下さい。

< 交通案内 >

都営三田線「芝公園」駅
A1出口徒歩3分(三田会館を左に曲って150m左側)
都営三田線「三田」駅 A9出口 徒歩7分
JR山手線「田町」駅 西口 徒歩9分
都営大江戸線・都営浅草線「大門」駅
A3出口 徒歩9分
JR山手線・東京モノレール「浜松町」駅
南口 (S5、金杉橋方面) 徒歩9分



検査を知ろう

～ 肝疾患に関する検査 ～

(はじめに)

肝臓は、生体内の化学工場と言われるほど、いろいろな物質を合成、分解、あるいは貯蔵する機能があります。小腸で食物から吸収されたグルコース、アミノ酸、脂質、ビタミンなどの栄養素は、肝臓に運ばれ、そのまま全身へ供給されるものもありますが、ほとんどは肝臓に一旦貯蔵されて、グリコーゲン、種々のたんぱく質、脂質・リポタンパクなどを合成する材料となります。また、薬物や有害物質、不要になったタンパクなどの体内物質は肝臓で分解、あるいは無害化されて体外へ排泄されます。肝臓の炎症や、病的状態ではさまざまな物質の血中濃度が変化するので、血液検査からその病態を把握することができます。

肝疾患の原因には肝炎ウイルス、アルコール、肥満、薬剤、自己免疫などがあります。その原因と病態を調べ、治療方法の決定や予後の判定をするためにいろいろな検査を組み合わせ実施し、総合的に判断します。今回は代表的な肝疾患の検査についてご説明します。

(肝炎ウイルスマーカーと臨床的意義)

日本での肝炎ウイルスの感染は、ほとんどA、B、C型ウイルスによるものです。検査でその感染時期や体内でのウイルスの活動状況を推定することができます。

< A型肝炎ウイルス >

- HA抗体: 過去の感染で陽性
- HA -IgM抗体: 肝炎発症中, その後数ヶ月陽性

< B型肝炎ウイルス >

- HBs抗原: 肝炎発症前から中期に陽性
- HBs抗体: 過去の感染で陽性
- HBe抗原: 肝炎活動中に陽性
(他者への感染力が強い)
- HBe抗体: 肝炎回復期に陽性
- HBV-DNA (B型肝炎ウイルスのDNA)
: 肝炎活動中に陽性
(HBV持続感染の確認、キャリアの病態把握)

< C型肝炎ウイルス >

- HC抗体: 感染有無を確認
- HCV-RNA (C型肝炎ウイルスのRNA)
: HCVの増殖状態を反映
(HCV持続感染の確認、キャリアの病態把握)

(肝機能検査と当院の基準範囲)

< 肝細胞障害を反映する検査 >

炎症がおこって細胞が壊れると、肝細胞の中にある酵素や物質が血液中に逸脱し、その血中濃度が上昇します。代表的な検査には以下のものがあります。

AST(アスパラギン酸アミノ基転移酵素)	11 ~ 38 IU/l
ALT(アラニンアミノ基転移酵素)	6 ~ 50 IU/l
LD (乳酸脱水素酵素)	103 ~ 190 IU/l
直接ビリルビン	0 ~ 0.6 mg/dl

< 肝細胞の合成能低下を反映する検査 >

下記の項目は肝細胞内で合成され、血液中に放出される物質です。値が低下している場合は、肝細胞が障害され、合成能が低下している可能性があります。

アルブミン	3.9 ~ 5.2 g/dl
コリンエステラーゼ (ChE)	220 ~ 495 IU/l
凝固因子 (PT)	75 % 以上

< 胆汁うっ滞を反映する検査 >

胆汁は肝細胞内で産生され、胆管へと流れます。胆管への排出が障害されると以下の酵素や物質の血中濃度が上昇します。

ALP (アルカリホスファターゼ)	117 ~ 350 IU/l
GT (ガンマグルタミルトランスフェラーゼ)	9 ~ 109 IU/l
総コレステロール	122 ~ 240mg/dl
直接ビリルビン	0 ~ 0.6 mg/dl



(生化学検査分析機 1日あたり約23,000テスト測定)

臨床検体検査部

若葉を芽吹かせたヒポクラテスの木

- 5月は皐月(さつき) -

副院長 中西 成元

5月は皐月(さつき)である。「皐」という字は、白い光を放出する様子を表わしたもので、光を放つ季節という意味である。分院の庭の大きなプラタナスが今年も光り輝く若葉を芽吹かせた。皆さんはプラタナスの木を良くご存知だと思う。実がたくさん集まって4~5cmほどの球状となり、その球3~5個が1つの軸に垂れ下がる。これが木に鈴をつるした様に見えるため、「すずかけの木」と呼ばれる。街路樹に多く見られ、プラタナスの並木、すずかけの小路などと称されたりするポピュラーな木だ。

ところで、分院のプラタナスが由緒ある木であることを最近初めて知った。以前よりヒポクラテスの木と書かれた説明板には気付いていたが、それ以上にはあまり気にも留めて居なかった。ところが最近、日本医史学会の方が全国のヒポクラテスの木に関する情報を収集され、虎の門病院分院にあるプラタナスが重要な木であることを知らせて下さった。改めてそのことを知り不明を恥じた次第だが、皆様にも是非知って頂きたいと思う。

ヒポクラテスの木とは、ギリシャの大医学者ヒポクラテス(前460~375)が、弟子にその木の下で医学を教えたという、ギリシャのコス島にあるプラタナスの大樹のことを言うそうである。このコス島にあるプラタナスに由来する木が「ヒポクラテスの木」と呼ばれ、現在日本には100本余りある。それらは8つの系統株に分類され、すべて同じDNAを持っているはずである。当院のものは蒲原株系統で、1969年新潟の整形外科医蒲原先生(現日本医史学会理事長)がコス島で球状果を採取され、日本に持ち帰り播種し発芽したものの1本である。緒方富雄博士宅に植えられたものが第2代院長沖中重雄先生時代に、分院開院10周年(昭和51年)記念にと贈られて、現在に至っているとのことである。このあたりの経緯は少し正確性に欠けるようであるが、いずれにしても当院にとって沖中先生由来の大切な木であることには間違いはない。

説明文の誤り(?)を指摘された星先生から、当院のヒポクラテスの木は良く手入れされているとお褒めを頂いた。誇りに思っ良いと思う。皆さんも是非一度見てほしい。この秋には球状集合果が何個かぶら下がることになると思われるが、興味のある方は播種されてみてはどうだろう。ただこの木は、とてつもなく大きくなり、沢山の葉を落とす。この点を、夢々お忘れなき様に。

追記 シミュレーション・ラボセンターの愛称も「ヒポクラテス・クラブ」となりました。



すし屋の掟 - その1

元精神科部長 栗原 雅直

すし

下北沢の「小笹鮓」のご主人は、有名な頑固親爺である。正確には「だった」になってしまったが、それは二三年前に体調を崩し、引退したからである。高級感がある極上の味なのに値段をばらばら、安心してカウンターで食べられた。だから本当におすしが好きな人たちが鼻息にしていたのである。カウンターに伴優の小沢昭一や桃井かおりの姿を見かけたこともあった。この親爺は、もと銀座でお店を出していたそうだが、ホステスを連れて鼻の下を伸ばしたお客が、したり顔でおすしの講釈など聞いていることに耐えられず、銀座の店をたたんで、下北沢にお店を移したのだという。

カウンターの下手には僧兵のような弟子が控え、親方との親しさがさほどでもないお客を相手にしていた。今は暖簾分けをしてもらって、銀座八丁目に「小笹」の店を出している。長年うるさい親方にしごかれたせいか、この店の評判もなかなかという話である。

小笹鮓は、アサヒ新聞社発行の「ウラミシュラン」の第一号誌のトップに登場し、さらに有名になった。なぜこのお店が選ばれたかというのと、お店がグルメ雑誌などに登場して有名になると、すしの味もロクに分からない若者が店を占領し、本当のご鼻筋の足が遠のく。それが嫌で一切の取材を断り、いわゆるグルメ雑誌の取材には木で鼻をくくるような態度だった。有名になって高くお金が取れて儲かる実利より、いわゆる「すし道」に徹する方を選ぶ頑固者だったのである。

お客は来店の際にカウンターに座らせ、予約は一切受け付けない。予約の人がまだ店に見えず席が空いているのに、すし道の探求者を空しく待たせるのは失礼といった理屈だったらしい。だから満席のときには、どんな馴染み客でも、散歩でもしていらっしやいと外に追い出してしまふ。固唾をのんで席があくのを待たされては、カウンターのお客も折角のお寿司を味わえない。またよく物を知らないお客がおすしの講釈を始めたりすると、あんたよく分からないくせに、とぴしゃりと黙らせる。とかくおすしの味に関しては一徹な人だったのである。

私がこのお店に行ったのは、もう二十年近く

も前からで、ある雑誌の記事を見たからだった。初めのうちは親爺の前のカウンターに座らせてもらえず、僧兵のようなお弟子に握ってもらっていた。ある日何回目かにこの店を訪ねたところ、突然、店の女性に「先生」と声をかけられた。虎の門病院の医療事務をしていた子が、実はこの頑固親爺の娘さんだったのである。患者を待たせせず、骨惜しみなく外来診療を引き受ける私は、たぶん外来管理課で評判がいいはず(これは勝手な思い込みだけれど)。彼女が私を好意的に親爺さんに話したせいか、その後、私の待遇が大分違って来たようだった。

今回、この頑固親爺がいかにすし屋の掟というマナーに煩さいかについて紹介したい。まず割り箸の袋は、さりげなく下げさせる。また隣のお客の小皿に親切ごかしにしょう油を注ぐとすると、たちまち親爺は注意する。余計な世話を焼くな、というわけである。しょう油の量が多すぎると、ふんわり握ったシャリの形が崩れる。しょう油の量も自己責任で、というのがその理由である。

何を食いたいと言えというのである。寿司屋に来たのだから、食いたいネタがあるだろう。自分のポリシーで食べるべきだ、というのが彼の主張である。またいつまでもおつまみばかり食べていると、寿司屋に来たのだから、早くニギリを食べなさい、ゴハンとサカナの組み合わせを味わうのが本道だ、という。だから店の名前が、ふつうの「鮓」でなく、魚とシャリを発酵でなれさせた「鮓」という字を使った、と。

私など、何でも口出ししたい方なのだが、流石にこの親爺の前に来ると、生半可な教養ではバカにされると思い、大体おとなしくしていた。だが、あるとき何となく癪に障ったので、帰り際に「ああ今日はタコ食べるの忘れた」と捨て台詞を吐いて店を出たことがあった。この親爺はいつも豆絞りのねじり鉢巻で、ときにはニヤニヤ、ときには苦虫を噛み潰したような顔をしており、その様子がオオダコのようなようだったからである。その後訪れたとき、別に怒ったような様子もなかったもので、胸をなでおろしたことであった。多分イヤミは分かったのだろうね。

虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時特定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

本院診療受付時間(初診)	
内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
麻酔科	13:00 - 14:30(水以外)
外科	8:30 - 11:00
脳外科	月曜～金曜 8:30 - 11:00 月曜 13:00 - 14:30
整形外科	8:30 - 10:30
形成外科	月・火・木・金 8:30 - 10:30
産婦人科	8:30 - 11:00
泌尿器科	8:30 - 10:30 12:30 - 14:00 (月)(火)(金)はのぞく
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

分院診療受付時間(初診)		
	AM 8:30-10:30	PM 1:00-3:30
内科総合診療科	火(第3×)	火(第3)・水
一般内科	月・火・水・金	火・水・木・金
呼吸器科	×	金(第1・2・3・4)
肝臓科	週による	週による
消化器科	×	水
神経内科	×	月・金
腎センター(内科)	月・火・水・木	月(第1×)・火
腎センター(外科)	火・金	×
精神科	×	月・火・水・木
循環器センター	×	水(第1・2・3)
外科	火・水・木	火・金
整形外科		×
皮膚科	×	火(第2・4)
小児科	×	月・水・金
泌尿器科	×	月
歯科		

虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2
TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分
車でご来院の方：有料駐車場があります
(30分：300円 患者さん割引あり)

虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1
TEL 044-877-5111 (代)

田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩15分
宮崎台駅よりバス5分

さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1
さいたま新都心合同庁舎2号館1階
TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分

JR埼京線 北与野駅 徒歩8分

(診療科) 内科・精神科・歯科

平日AM 9:00～11:30 PM 1:30～4:00

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院 健康管理センター

直通) 03-3560-7777

平日8:30 から 16:00まで

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。

(料金) 60分：31,500円

延長される際には、30分毎：21,000円

医療連携部 (直通) 03-3560-7823